

2022 年度第 15 回学術大会「会員企画シンポジウム」について

一般社団法人日本スピリチュアルケア学会
学術委員会

一般社団法人日本スピリチュアルケア学会（以下、JSSC）では、2022 年度第 15 回学術大会（開催担当：日本スピリチュアルケアワーカー協会）において、会員の皆さまが自主的に企画・運営する「会員企画シンポジウム」の実施を計画しております。

1. 「会員企画シンポジウム」公募の目的

JSSC の学術大会ではこれまで、会員の研究成果の発表機会としての「研究発表」（一般演題）とともに、開催担当がそれぞれの個性を活かして企画する「公開講演」や「シンポジウム」などが実施されてきました。こうした内容構成は多くの学会でも採られており、この路線は JSSC においても今後とも継続していく所存です。とはいえ、JSSC の特質は、スピリチュアルケアに関わる多様な会員で構成されている点にあります。この特質をさらに活かす意味から、ここ数年、学術大会における会員相互の意見交換の場をさらに広く活性化できないかという意見が聞かれるようになりました。

その意向を踏まえ、2021 年度第 14 回学術大会（開催担当：大正大学）においては、「研究発表」の中に従来までの「一般演題」に、新たに「パネル発表」が設置されました。また、開催担当が企画するシンポジウムに加え、JSSC 学術委員会で独自に企画したシンポジウムを併せて実施いたしました。学術大会終了後の会員アンケート結果からは、これらの新しい試みに対し、概ね歓迎する方向のご意見をいただくことが出来ました。

そこで、昨年度学術大会における、学術委員会企画のシンポジウムを開催した経験を活かし、シンポジウムの企画・運営を会員に開放し、会員の皆さまが“今”感じている問題や関心を、より正面から掘り下げ、意見交換を行うシンポジウムを公募することにいたしました。

これを「会員企画シンポジウム」と銘打った理由は、学術大会開催担当シンポジウムとは独立して、JSSC 会員が自主的に企画・開催した企画であるという点にあります。応募書類は、「拡大学術委員会」（学術委員会委員＋業務執行会議メンバー）で検討された後、理事会において審議した上で最終決定されます。

2. 前提となる情報

(1) 「第 15 回日本スピリチュアルケア学会学術大会」の概要

主催：日本スピリチュアルケア学会・日本スピリチュアルケアワーカー協会

後援：上智大学グリーンケア研究所

期日：2022年10月29日(土)、30日(日) (28日には講習等実施)

場所：兵庫県看護協会会館（兵庫県神戸市）

（会場への直接のお問い合わせはご遠慮ください。）

◇公開基調講演

2022年10月29日（土） 9:20～10:20

「ケアする人のケア」 山添 正 大会長

◇公開シンポジウム I（開催担当企画シンポジウム）

2022年10月29日（土） 10:30～12:30

「スピリチュアルケアの現在と未来への展望」

司会：大下大圓 実行委員長

【企画意図】

学会設立15周年を迎えるにあたって、創設時の思いを再確認しつつ、その後の社会変化やスピリチュアリティ、スピリチュアルケアの変遷をふりかえる。それは、スピリチュアルケアの担い手がどのような方向性に展開してゆくかを見きわめ、スピリチュアルケアを持続可能なものにするためである。

スピリチュアルケアの担い手たちは、その熱意ゆえに、高い理想を抱き、現場の「泥臭さ」に失望してしまうことも多い。このシンポジウムが目指すのは、純学術的な討議よりも、現場に即した対話を積み上げていくことである。そのために、三人のシンポジストが提示するのは、実践者でありながら研究者でも指導者でもあるというジレンマをはらんだ視点である。多文化を比較する視点をもちながらも、日本文化に根ざし現場に即したスピリチュアルケアを実践もするシンポジストが、諸外国と比較検討し、現代日本におけるスピリチュアルケアの課題を検討する。

コメンテータは、ケアの担い手としての豊かな経験から、シンポジストたちの議論を掘り下げ、広げ、対話に参加するよう招く。司会はシンポジストとコメンテータの豊かな経験知を引き出す。この困難な時代を超えていくまなざしと希望があらたに見いだされる場にした

◇研究発表（一般演題・パネル発表）

2022年10月30日（日） 9:30～12:00

(2) 会員企画シンポジウムの日時

2022年10月30日（日） 13:30～15:30

3. 「会員企画シンポジウム」応募申請書の作成

- ・所定の応募申請書（本案内末尾のエクセルシート）に必要事項を記載し、JSSC 学術大会事務局（amtg.jssc@gmail.com）宛にメール添付の形式にてご提出ください。

締切は 2022 年 3 月 31 日 23:59 必着です。

応募申請書受付の確認メールは、提出日より 3 日以内に申請書送信元メールアドレスに送られます。

- ・シンポジウムで扱うテーマは自由ですが、JSSC 会員の関心の高い問題が望まれます。
- ・採択された企画は、当該企画代表者が中心となって運営にあたってください。
- ・企画運営には、学術委員会委員がオブザーバーとして参加、理事会とのパイプ役としてバックアップします。
- ・企画代表者は、JSSC 会員に限ります。
- ・登壇者の過半数は、JSSC 会員で構成してください。
- ・非会員の登壇者への旅費・謝金については、慣例に従って支給します。
- ・「会員企画シンポジウム」に採択されなかった企画は、申請者の意向を打診した上で、以下のいずれかとなります。
 - (a) 2022 年度第 15 回学術大会の研究発表内、「パネル発表」企画へ移行
 - (b) 2023 年度第 16 回学術大会シンポジウムに再応募
 - (c) 取り下げ

4. 応募申請書の記載内容

- ・シンポジウムの題名（仮題可）
 - * テーマは自由ですが、JSSC 会員の関心の高い問題を扱うことが望まれます。
- ・企画代表者の氏名・所属・メールアドレス・その他連絡先
 - * 企画代表者は、JSSC 会員に限ります。
- ・登壇予定者
 - ・シンポジスト氏名・所属（3 名程度）
 - ・コメンテータ氏名・所属（0～2 名）
 - ・司会氏名・所属
 - ・その他（必要があれば）氏名・所属・その役割
 - * 登壇者の過半数は JSSC 会員で構成してください。
 - * 原則として、申請書類に記載された登壇予定者に変更が生じないようにご注意ください。
- ・企画意図
シンポジウムの企画意図について、各シンポジストの役割・発話内容・次第などにも触れながら、1200～1600 字で記載してください。